

学校だより



# 紫竹山

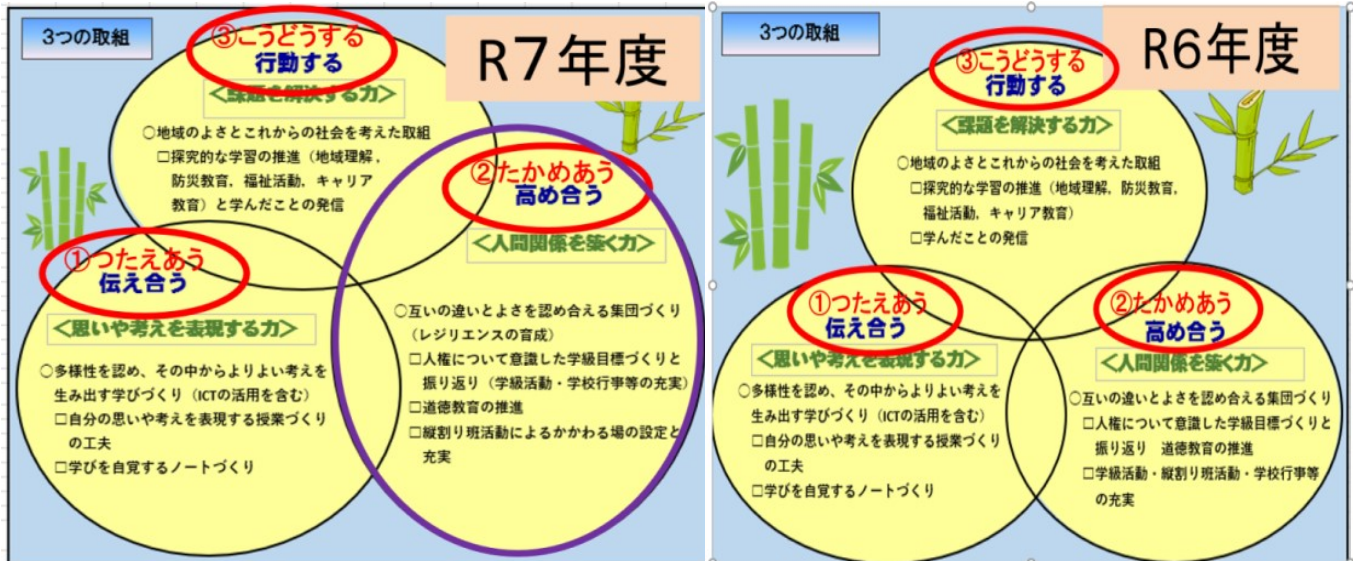
232号

新潟市立  
紫竹山小学校

児童数 391名

## ■新しい自分を創る ～「伝え合って 高め合って 行動する」子どもに～

校長 風間 弘子



令和7年度がスタートしました。今年度も子どもたちと当校の教育目標「新しい自分を創る」達成に向けて、取り組んでいきます。そのために、始業式で子どもたちに「3つの取組」について話をしました。そして、次のように質問をしました。

「昨年度も今年度も【伝え合う・高め合う・行動する】の言葉は一緒なのですが、大きさが違うことに気づきましたか？一番違う大きさなのはどこなのか、分かりますか？」令和7年度と令和6年度の図を比べて見せた所、すぐに「高め合う」と反応が返ってきました。

「人間関係を築く力、要するに、友達や先生方、おうちの人、地域の人と仲良くして楽しい学校生活を送っていけば、学習もうまくいくし、自分から行動してみようという気持ちになるということです。嫌なことや心配なことがあった時に、友達や先生方・大人に相談して折り合いをつけて、その時に乗り越える方法を見つけて学校生活を送っていく、何か楽しいことはないかではなくて、自分から楽しいこと、できてよかったことを、小さなことでもいいから見つけていく皆さんであってほしいと思っています。そのために、先生方も全力で皆さんを応援しますよ。」

当校の校歌の2番目の歌詞にもあります。「雪がこんこん降る下で ぼくらは生きる 竹のように」竹は力を加えて曲げても、折れずに元に戻る力があります。嫌なことや心配なことがあっても、紫竹山の「竹」のように、嫌な気持ちや心配なままで終わるのではなく、元に戻る力、乗り越えていく力「レジリエンス」を身に付けさせていきます。そのために、職員で研修を継続し、それが子どもたちに還元していくように務めていきます。

学校での教育が効果を上げるためには、保護者の皆様・地域の皆様との連携が必要不可欠です。学校では、保護者の皆様と日々の情報を共有しながら、子どもたちの成長を支えていきたいと考えています。もし、お子さんの様子で気になることがあれば、どうぞ遠慮なくご相談ください。地域の方からも、気を付けるべきこともお話しいただきますが、子どもたちのよい行いもご連絡いただくことがあり、子どもたちと共有しております。よろしくお願いいたします。